



農業ひろさき

2023年1月1日 (第203号)
(令和5年1月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会
弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



令和4年度青森県農業委員会大会

11月16日、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、過去2年間中止となっていた青森県農業委員会大会が3年ぶりに青森市で開催され、県内の農業委員、農地利用最適化推進委員が参加しました。

大会では、「農業経営基盤強化促進法等の一部改正について」と題した基調講演が行われ、参加した委員は法改正の背景や目的、又、農業委員会の役割など法改正に理解を深めていました。

議事では、持続可能な農業・農村を創るための政策提案1件と、申し合わせ決議事項3件の議案4件が、いずれも満場一致で決議されました。

また、今大会で、伊藤公正委員(松木平)が永年勤続農業委員・農地利用最適化推進委員、小嶋勇成委員(蒔苗)が農政功労農業委員、又、当市農業委員会が優良農業委員会として、それぞれ青森県農業会議会長賞を受賞しました。



大会決議の実行方法を確認する
成田会長



「ガンバロー三唱」をする当市の委員

【決議された政策提案の概要】

1. 農地政策について	水田活用の直接支払交付金の見直しに係る対応 等
2. 経営・人材政策について	新たな担い手の確保・育成・定着へのサポート体制の強化/生産資材等のコスト低減対策 等
3. 鳥獣被害対策	多様な鳥獣被害対策への支援/人材の確保・育成 等
4. 大規模自然災害等への対応について	農村地域における防災・減災対策への予算確保/被災農業者への支援 等
5. 農業委員会組織について	農業委員会活動へのタブレット活用のための導入支援 等

年頭にあたって

弘前市農業委員会
会長 成田 繁則



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、8月上旬の低気圧に伴う記録的な大雨により、本市を含め東北地方や北陸地方などの広域にわたり、豪雨災害が発生いたしました。

本市農業への影響が顧みますと、河川流域を中心に被害が発生し、中でも本市基幹産業であるりんごでは、園地の樹冠浸水面積が約276ha、被害総額が8億2千万円を超え、平成25年の台風と比較しても、被害の大きさは甚大なものとなりました。浸水した一部園地では、災害の影響が本年の生産にも及ぶことが懸念されるなど、今般の災害の深刻さとともに、近年の国内外で常態化している自然災害への備えの必要性を改めて思うところであります。

また、昨年は原油や肥料等生産資材価格の高騰が農業経営に影響が及ぶなど明るい話題の少ない1年ではありましたが、令和2年から続く新型コロナウイルスに起因する消費需要の低迷は、徐々にではありますが改善の兆しが見える年でもありました。

このような中で、農地政策に目を向けますと、これまでの「人・農地プラン」を「地域計画」として法定化することを盛り込んだ改正農業経営基盤強化促進法が昨年5月に成立し、本年4月の施行が見込まれております。この改正において、農業委員会は重要な役割を担うとされ、本年は、農地を所有する方等の意向把握から確実に進めて参りたいと考えております。

結びに、本年も農地利用の集積・集約、遊休農地の解消などの課題に対応するため、農地の現地調査や利用調整、関係機関への要請活動など、農業委員及び農地利用最適化推進委員が一体となって活動に取り組んで参りますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良い年でありますよう祈念いたします。

令和5年度 遊休農地再生事業費補助金に関する事前要望調査をします

市では、遊休農地対策として実施している本補助事業(令和4年度までは耕作放棄地再生促進事業費補助金)について、農業者の皆さまの要望を事前に調査します。

令和5年度に遊休農地の再生事業実施を予定されている方は、お知らせください。

※本調査は、あくまで事前調査であり、事業の申請ではありません(今回の調査で回答がない方でも申請可能です)。具体的な補助事業の内容やスケジュールが決まり次第、ひろさき農業メールマガジン等でお知らせします。なお、今回の調査期間終了後においても、遊休農地の再生に関するご相談は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



- ◆補助金額 補助対象経費の実費、若しくは定額(再生作業内容により10アールあたり25,000円又は50,000円)のいずれか少ない額以内の額。
※補助事業の内容は今後変更の可能性があります。
- ◆調査期間 1月10日(火)～1月27日(金)
- ◆調査事項 希望者の氏名、住所、連絡先、遊休農地の所在・面積、作業内容など
- ◆回答方法 電話または下記担当窓口にてお知らせください(ただし、土・日は除きます)。
- 問い合わせ先 農政課農地支援係(市役所前川本館3階) ☎40-0656

「地域農業の将来方針」や「地域計画」について考える 集落座談会

市では、市内全域を10地区に分け、地区ごとの話し合いにより今後の地域農業の方向性を定めることを目的に、下記の日程で集落座談会を開催します。

集落座談会では、「地域農業の将来方針(人・農地プラン)」について、貸付希望・後継者の有無・遊休農地などを記載した地図などを使い、今後の地域の課題等について話し合います。

今後の地域農業のあり方を考える重要な場ですので、積極的にご参加ください。

また、令和6年度末までに、これまで策定してきた「地域農業の将来方針」の内容に加えて、10年後に目指すべき一筆ごとの農地利用の姿を地図に表示した「地域計画」を地区ごとに新たに定める必要があることから、その内容についてご説明します。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容変更またはやむを得ず中止する場合がございます。

※事前の申し込みは不要です。

- 問い合わせ先 農政課農地支援係(市役所前川本館3階) ☎40-0656

地区名	日付	開催時間	会場
清水	1月17日(火)	14:00～	清水公民館
新和	1月19日(木)	14:00～	新和公民館
旧市・和徳 豊田・堀越	1月20日(金)	14:00～	総合学習センター
相馬	1月23日(月)	14:00～	中央公民館相馬館
千年	1月26日(木)	14:00～	千年公民館
東目屋	1月27日(金)	14:00～	東目屋公民館
堀野	1月30日(月)	14:00～	堀野公民館
石川	1月31日(火)	14:00～	石川公民館
岩木	2月2日(木)	14:00～	中央公民館岩木館
藤代・船沢 高杉	2月3日(金)	14:00～	北辰学区高杉ふれあいセンター

※各回2時間程度です。

ひろさき広域婚活支援事業実行委員会主催 魅力アップセミナー&交流会のお知らせ

素敵な出会いに向け、ご自身の魅力をアップさせませんか?詳細は右記QRコードからご確認ください。

- ◆開催日 1月15日(日)午後1時から
- ◆対象者 弘前圏城市町村在住または将来住む意思のある18～59歳の独身男女
- ◆参加料 1,000円

- 問い合わせ先 ひろさき広域出愛サポートセンター(ヒロロ3階) ☎35-1123



農地の受け手・出し手募集中!詳しくは農業委員会事務局まで

りんご園等改植事業（令和5年春・秋植え分）

市では、りんごや特産果樹の改植事業（令和5年春・秋植え分）の要望受付を行います。補助事業の活用をお考えの方は下記期間内に申込みください。

- ◆補助対象者 市内の農家又は農地所有適格法人
※丸葉は60歳未満（令和6年3月末時点）の方に限ります。
- ◆事業内容
 - ①りんご
 - (ア) わい化・丸葉への改植・新植に要する経費
※果樹産地振興協議会が定める振興品種は原則補助対象外です。
 - (イ) 省力樹形（高密度栽培、V字ジョイント栽培等）による改植・新植に対する国の改植事業への上乗せ
※改植・新植の前年度に国の改植事業の申請が必要です。
※果樹産地振興協議会が定める振興品種のみ補助対象です。
※1事業者につき、10aを上限とします。
 - ②特産果樹（ぶどう、もも、おうとう、なし他）改植・新植に要する経費
 - ③事業実施後の未収益期間（4年分）の園地管理費用に対する補助（①（イ）の場合は対象外）
- ◆採択基準 植栽面積が地続きで2a以上かつ改植・新植であること。
※補植（植栽する木と残す木が交互に並ぶ等）は対象外です。
- ◆植栽間隔
 - ①りんご（わい化）：列間4～6m、樹間2～3m
 - ②りんご（丸葉）：列間・樹間ともに6～9m
 - ③特産果樹：種類ごとに異なりますので、お問い合わせください。

- ◆植栽面積の算定方法 列間距離×樹間距離×植栽本数
- ◆補助対象経費 苗木代、支柱代、土壌改良資材、伐採・抜根及び伐採樹撤去費、深耕・耕起・整地・植穴・植栽に係る工費、賃金、機械リース代
- ◆補助額
 - りんご・特産果樹のわい化・丸葉による改植・新植
 - ①りんご（わい化）…補助対象経費の実費、もしくは定額（10aあたり16万円）のいずれか少ない額以内の額
 - ②りんご（丸葉）・特産果樹…補助対象経費の実費、もしくは定額（10aあたり8万円）のいずれか少ない額以内の額
 - ③未収益期間補助…定額（10aあたり10万円）以内の額
※この金額は4年間分であり、一括交付します。
 - 省力樹形…10a分を上限に国補助金額の2分の1（10a当たり改植：36万円、新植：35万円）以内の額
- ◆申込期間 2月7日（火）～2月21日（火）
※園地の所在地（番地まで）・面積、品種・本数・植栽間隔、改植の場合は伐採品種・本数をお知らせください。
※事業実施にあたって生じる経費に係る見積書と植栽予定図をお持ちください。
- 問い合わせ先 りんご課生産振興係（市役所前川本館3階）
☎40-7105

※今後、内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ご不明な点等は、上記連絡先へお問い合わせください。

農業用ハウスの雪害防止対策を！

農業用ハウスを雪による倒壊等から守るため、対策を行いましょう。

【雪害対策のポイント】

- ・ハウスの点検、補修を行うとともに、支柱などで補強しましょう。
- ・ハウスに積もった雪は早めに下ろすほか、ハウス側面に積もった雪はこまめに除排雪しましょう。
- ・冬期間利用しないハウスは、ビニールを撤去しましょう。

■問い合わせ先 農政課農産係（市役所前川本館3階）☎40-0504



弘前大学公開講座「りんごを科学する」

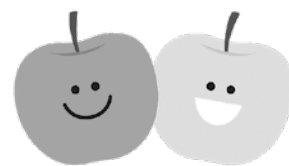
弘前大学と藤崎町の共催でりんご生産者やりんご産業関係者、一般市民を対象に、りんごに関する講座を開講します。ぜひお気軽にご参加ください。

- ◆日時 1月9日（月・祝）午前10時～午後4時10分
- ◆場所 藤崎町文化センター（藤崎町大字西豊田一丁目1）
- ◆内容 「りんご輸出先の拡大に関する考察」
「SDG'sとりんご産業の貢献-未利用資源活用の視点から-」ほか

◆受講料 無料

●本講座は「おもりの県民カレッジ」の認定講座です。

■問い合わせ・申込先 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 藤崎農場
☎75-3026 FAX75-5646



スマート農業講演会を開催します

近年、担い手不足解消・生産性向上の一助として期待される「スマート農業」に関する講演会を開催します。

皆様の参加をお待ちしています。

◆日時 1月31日(火)午後2時～3時30分

◆場所 岩木文化センター「あそべる」
(賀田1丁目18-4)

◆講師 弘前大学農学生命科学部
教授 張樹槐(チャン・シューファイ)氏

◆内容 高品質な農産物の安定的な生産に向けた「知恵」と「勘」の可視化

◆参加料 無料 ※駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせのうえご来場ください。

■問い合わせ先 農政課担い手育成係(市役所前川本館3階)
☎40-0767

■主催 弘前市認定農業者連絡協議会/岩木町認定農業者連絡協議会/相馬地域認定農業者連絡協議会

農業簿記ソフトの購入費用を補助します!

青色申告に取り組むために、農業会計業務を自ら行うことを目的として購入する農業簿記ソフトの購入費用の一部を補助します。この機会に収入保険の加入要件でもある青色申告をはじめてみませんか。

※申請は令和5年2月28日まで。お急ぎください。

◆補助対象経費及び補助金の額

・農業簿記ソフト1個の購入価格(税抜)の1/3以内(上限3万円) ※事前に申請が必要です。

◆補助要件などの詳細はこちら

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/2021beika-aoshinkinkyu.html>

■問い合わせ先 農政課地域経営係(市役所前川本館3階)

☎40-7102



動物駆逐用煙火消費保安講習会

鳥獣の追い払いなどに使用する花火等の適正な取り扱い方法を学びます。参加者には煙火を無償で提供できるようになります。

◆日時 令和5年2月8日(水)

午前10時30分～11時45分

◆場所 岩木文化センター「あそべる」

弘前市大字賀田1丁目18-4

◆受講料 無料

◆申込締切 1月31日(火)

■問い合わせ・申込先

農村整備課鳥獣対策係(市役所前川本館3階)

☎40-4155



農業の第三者承継推進フォーラムを開催します

後継者のいない農業者が増えている中、親族以外の第三者に経営を継承する「第三者承継」が注目されています。

「第三者承継って何?」、「どう進めればいいのか分からない」という皆さん!実際に第三者承継に関わった農業者のお話を聞いてみませんか。

◆日時 令和5年1月26日(木)午後1時30分～4時

◆場所 岩木文化センター「あそべる」(弘前市大字賀田1丁目18-4)

◆内容 (1) 基調講演

「第三者承継の推進に向けて地域の関係機関が果たすべき役割について(仮)」

講師: 有限会社ジェイ・ウィングファーム

代表取締役 牧 秀延氏(愛媛県)

同社では、愛媛県において、「地域から耕作放棄地は出さない」との方針の下、遊休農地等を集積し、米麦二毛作のほか、アワ、ヒエ、キビ等の雑穀の生産及び加工・販売までの一貫経営を実施しています。

(2) 県外の事例紹介

「第三者承継に取り組むことで活力を得た」

講師: 夢果実生産組合 代表 保崎邦雄 氏(山梨県)

(3) パネルディスカッション

第三者承継を推進するために地域が取り組むべきことについて、講師と発表者などがパネルディスカッションを行います。

◆参加料 無料

◆問い合わせ・申込先 青森県農林水産部構造政策課

☎017-734-9463

※参加申込みは、令和5年1月18日(水)までに電話でお申込みください。

謹賀新年



広報委員会では、タイムリーな農業情報等充実した紙面づくりを今年も心がけます。ご愛読のほどよろしくお願い致します。



(前列左から) 藤田善明委員長、高橋貴志副委員長
(後列左から) 田村真裕美委員、種澤達也委員、三上浩太委員